

論点整理表（令和5年度業務実績・財務諸表等）

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
1	11	質問	（第2-1.(2) グローバル人材の育成 「インドネシア・スラバヤで国際WSを実施し、学生9人は参加」などの取り組みが紹介されているが、今後の教育内容の充実に向けた手応えや展望について、お聞きしたい。	交流事業への参加を契機に、学生が本学主催の英語講座に積極的に参加する例や、協定校等への海外留学を目指す例があることから、国際交流プログラム支援事業の推進や協定締結校等との交流事業の活性化に取り組み、交流機会のさらなる創出が重要であると認識しています。また、今年度からFA基金を活用した中長期留学を支援する助成事業（1か年度に3人、上限100万円/人。3か年度実施予定）を実施しているほか、交換留学生制度の整備も進めており、これらの取り組みにより、グローバル人材の育成を促進していきます。	企画課
2	58	質問	（第4-1.(1) 地域社会への貢献 「空き家レジデンスプロジェクトの実践」とあるが、これまでの取り組み内容と地域における受け止め(成果)、それを踏まえた今後の展望について、お聞きしたい。	社会問題の1つである空き家の活用に向けて、平成28年度から取り組んでいるプロジェクトであり、学生の創作活動や展示会の場として、現在、2件の空き家を活用しています。当該プロジェクトは、空き家の活用および学生の活動支援という目的のほか、展示会を開催し学修成果を公開することで、地域の方々が普段からアートに触れる機会を創出し、ひいては地域の活性化にも寄与していると考えています。空き家のうち一軒は、老朽化が進行しており代替施設を探しているところですが、立地条件や使用目的に合致した間取りの物件が見つからないことが課題となっています。	企画課
3	18	質問	入学者選抜方法のあり方を研究したとあるが、どのような検証、分析を行い、今後にかすのか。また、今後さらに18歳人口が減少する中で、どのように受験者数を確保する考えか。	在学生の入試区分と入学後の成績状況を分析し、特定の入試区分において入学後の成績上位者・下位者が多い・少ない等の相関の有無を検証し、これが確認された場合は、募集定員や入試科目等の見直しにつなげていきます。 また、受験者数の確保に向けては、他の美術系大学との差別化を徹底し、基本理念である「新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学」をテーマとしたブランディングと広報に注力することで、従来の美術系大学のターゲットとは異なる受験者の開拓に取り組み、入学者選抜もこれに対応した方法を検討していく必要があると考えています。	学生課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
4	33	質問	学生から卒業・修了研究作品を受け入れているが、その活用方法は。また、収蔵する作品の選定方法は。	昨年度に開催した開学10周年記念展では、収蔵作品の一部を展示したほか、7月20日から秋田市文化創造館で開催予定の展覧会でも活用する予定です。収蔵作品の貸出も行っており、これまで秋田市やあきびネット会員に貸し出した実績があります。また、現在、さらなる活用に向けて、学内で検討を進めているところです。 収蔵作品の選定においては、実施要領に定めるとおり、本学の教育の成果として優れた作品を対象に、各専攻・研究科から推薦のあった作品を展示・発表委員会で審議し、理事長が決定しております。	企画課
5	27 44 101	質問	図書館のエレベーター設置のための設計を行ったようだが、設置はしていないのか。また、学内のバリアフリー化はどのくらい(%)進んでいるのか。	施設整備においては、雨漏りへの対応（調査・改修工事）を優先することとしており、図書館へのエレベーター設置は令和7年度以降の予定となっております。 学内のバリアフリー化について数値化していませんが、自動ドア設置予定箇所については、令和6年度工事をもってすべて終了する予定です。 自動ドア設置実績 R3年度 アトリウム棟正面出入口、管理棟正面出入口 R4年度 図書館出入口、ピロティ出入り口 R5年度 管理棟北側出入口 R6年度 厚生棟東西出入口	総務課
6	61	質問	公立3大学によるプロジェクトが本格型に昇格したとのことだが、美大として、どのように関わり、地域社会に還元するのか。	本プロジェクトにおいて推進する5つの研究課題のうち、次の3課題に取り組むこととなっており、特に②については、研究課題リーダーとして参画し、県内に点在する優秀な作り手を繋ぎ、将来的には秋田を木製家具の一大産地に発展させることを目指し取り組むものです。 ①森とまちのカーボンの推進 ②伝統産業の継承と革新 ③地域起業家醸成プロセスの実証と自律的な豊かさの評価指標の確立	企画課